

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : **2001-102833**

(43)Date of publication of application : **13.04.2001**

(51)Int.Cl.

H01Q 1/24

H01Q 1/27

H04Q 7/32

H04M 1/02

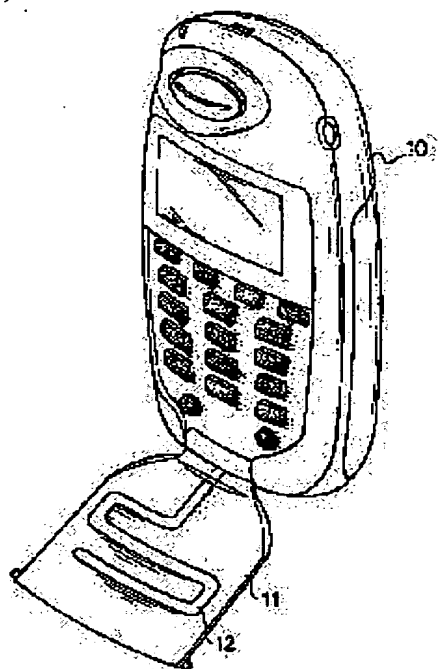
(21)Application number : **11-253134**

(71)Applicant : **FUKOKU BIHA TSUJIN KOFUN
YUGENKOSHI**

(22)Date of filing : **07.09.1999**

(72)Inventor : **HO SEIEI**

(54) ANTENNA FOR PORTABLE TELEPHONE



(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent hazard to the brain of a human body or a disease or brain tumor in the brain in a severe case when transmitting or receiving radio waves (or electromagnetic waves).

SOLUTION: An antenna 12 for a portable telephone is provided on an open/ close lid 11 pivoted at the lower part of a portable telephone 10. Since the antenna 12 is provided on the open/close lid 11 pivoted at the lower part of the portable telephone 10, in the case of using this portable telephone 10, this antenna 12 can be put away from the brain of a user so that adverse influences caused by radio waves (electromagnetic waves) upon the brain can be prevented.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 08.09.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 22.03.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-102833

(P2001-102833A)

(43) 公開日 平成13年4月13日 (2001.4.13)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマート* (参考)
H 0 1 Q 1/24		H 0 1 Q 1/24	Z 5 J 0 4 6
	1/27		5 J 0 4 7
H 0 4 Q 7/32		H 0 4 M 1/02	C 5 K 0 2 3
H 0 4 M 1/02		H 0 4 B 7/26	V 5 K 0 6 7

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-253134

(22) 出願日 平成11年9月7日 (1999.9.7)

(71) 出願人 599126730

富國微波通説股分有限公司

台湾 台北縣 汐止鎮 新台五路一段77号
5樓之4

(72) 発明者 彭 聖英

アメリカ合衆国, カリフォルニア州

92025, エスコンディド, インスピレイシ
ョン レイン 731

(74) 代理人 100080089

弁理士 牛木 護

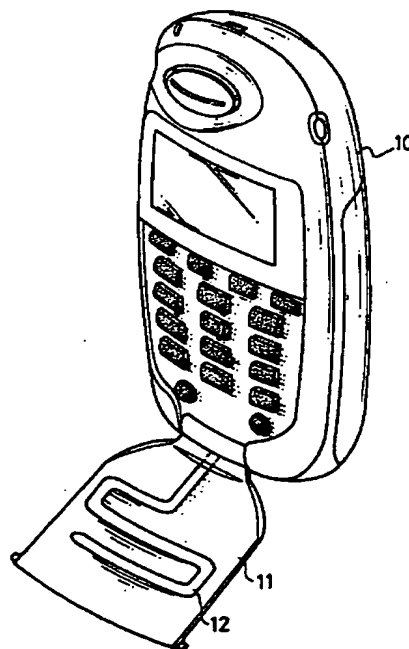
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 携帯電話用アンテナ

(57) 【要約】

【課題】 無線電波（或いは電磁波）を発信或いは受信する際、人体における脳部に影響し易く、酷い場合は、脳部に異変が起きたり、脳腫瘍になったりする恐れがあるので、これを防止する。

【解決手段】 携帯電話10の下部に枢設される開閉式蓋体11に携帯電話用アンテナ12を設ける。アンテナ12が携帯電話10の下部に枢設される開閉式蓋体11に設けられるため、該携帯電話10を使用する際、該アンテナ12を使用者の脳部から遠ざけることができ、そうすることによって無線電波（電磁波）による脳部に対する悪影響を防止できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 信号を発信或いは受信できるアンテナであって、携帯電話の下部に枢設される開閉式蓋体に設けられることを特徴とする携帯電話用アンテナ。

【請求項2】 前記アンテナは前記開閉式蓋体の内面に印刷方式によって設けられることを特徴とする請求項1に記載の携帯電話用アンテナ。

【請求項3】 シールに前記アンテナを印刷し、その後該シールを前記開閉式蓋体の内面に粘着することを特徴とする請求項1に記載の携帯電話用アンテナ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、携帯電話用アンテナに関し、アンテナが携帯電話の下部に枢設される開閉式蓋体に設けられるため、該携帯電話を使用する際、該アンテナを使用者の脳部から遠ざけることができ、そうすることによって無線電波（電磁波）による脳部に対する悪影響を防止できる。

【0002】

【従来技術とその課題】携帯電話においてアンテナは信号を発信及び受信するためにはならない重要な部材の一つであるので、該携帯電話には必ずアンテナを設置する必要がある。

【0003】図4及び図5に示すように、従来の該携帯電話（20）の上方には信号を発信及び受信するためのアンテナ（21）が設けられ、下部には開閉式蓋体（22）が枢設される。しかし上述した構造では実際に使用する際、下記に示すような問題点がある。

【0004】前記アンテナ（21）は無線電波（或いは電磁波）を発信及び受信することはできるが、前記携帯電話（20）を使用する際、該アンテナ（21）と脳部の距離が非常に近い。また、最近の様々な報道によると、無線電波（或いは電磁波）を発信或いは受信する際、人体における脳部に影響し易く、酷い場合は、脳部に異変が起きたり、脳腫瘍になったりする恐れがある。

【0005】本発明は上記の課題を解決するものであり、携帯電話の下部に開閉式蓋体を枢設し、該開閉式蓋体に銅箔を印刷することによって、信号を発信及び受信できるアンテナを形成することができるので、該携帯電話を使用している際、該アンテナを脳部から遠ざけることができ、それによって無線電波（電磁波）による脳部に対する悪影響を防止することができる。

【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の本発明は、信号を発射或いは受信できるアンテナであって、携帯電話の下部に枢設される開閉式蓋体に設けられることを特徴とする携帯電話用アンテナを提供する。

【0007】また請求項2記載の本発明は、前記アンテナは前記開閉式蓋体の内面に印刷方式によって設けられることを特徴とする請求項1に記載の携帯電話用アンテナ

ナである。

【0008】さらに、請求項3記載の本発明はシールに前記アンテナを印刷し、その後該シールを前記開閉式蓋体の内面に粘着することを特徴とする請求項1に記載の携帯電話用アンテナである。

【0009】

【発明の実施形態】以下、図面を参照して本発明の好適な実施の形態を詳細に説明する。

【0010】図1は本発明における携帯電話用アンテナを備えた携帯電話の開閉式蓋体を開けた状態を示す斜視図であり、図2は本発明における携帯電話用アンテナの使用状態を示す図であり、図3は本発明における携帯電話用アンテナを備えた携帯電話の開閉式蓋体を閉めた状態を示す斜視図である。

【0011】図1及び図2に示すように、本発明は、携帯電話（10）の下部に枢設される開閉式蓋体（11）の内面に銅箔を印刷することによって、異なる周波数に対応できる適当な長さのアンテナ（12）を成形し、該アンテナ（12）は例えばメアンダーライン（MEANDER LINE）アンテナなどである。

【0012】上述したように、前記開閉式蓋体（11）には前記アンテナ（12）が設けられており、該アンテナ（12）は該携帯電話（10）の下部に位置するので、該開閉式蓋体（11）を開け、前記携帯電話（10）を使用する際、該アンテナ（12）は使用者の脳部付近ではなく、口部付近に位置する。従って前記アンテナ（12）による信号の受信或いは発信によって、脳部に悪影響を与える恐れはない。

【0013】図3に示すように、前記携帯電話（10）が待機状態の際は、前記開閉式蓋体（11）は閉じており、また前記アンテナ（12）は該開閉式蓋体（11）の内面に位置しているので、該携帯電話（10）の外部の美観性に悪影響を及ぼすことはないと共に、該携帯電話（10）が信号を受信する際も、厚さの薄いプラスチック製の該開閉式蓋体（11）を通過して該アンテナ（12）に着信するので、受信の品質に対して悪影響を及ぼす恐れはない。

【0014】前記説明においては、前記アンテナ（12）は印刷方式によって、前記携帯電話（10）における開閉式蓋体（11）に設けられるが、該アンテナ（12）が印刷されたシールを直接に該開閉式蓋体（11）に粘着する方法を用いても良い。

【0015】

【発明の効果】本発明は上記の構成を有するので、前記アンテナ（12）が無線電波（或いは電磁波）を発信或いは受信する際、該アンテナを脳部から遠ざけることができるので、無線電波（電磁波）による脳部に対する悪影響を防止することができ、それによって脳部における病気の発病も防止できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例における携帯電話用アンテナ

を備えた携帯電話の開閉式蓋体を開けた状態を示す斜視図である。

【図2】本発明の一実施例における携帯電話用アンテナの使用状態を示す斜視図である。

【図3】本発明の一実施例における携帯電話用アンテナを備えた携帯電話の開閉式蓋体を閉めた状態を示す斜視図である。

*【図4】従来の携帯電話の斜視図である。

【図5】従来の携帯電話の使用状態を示す斜視図である。

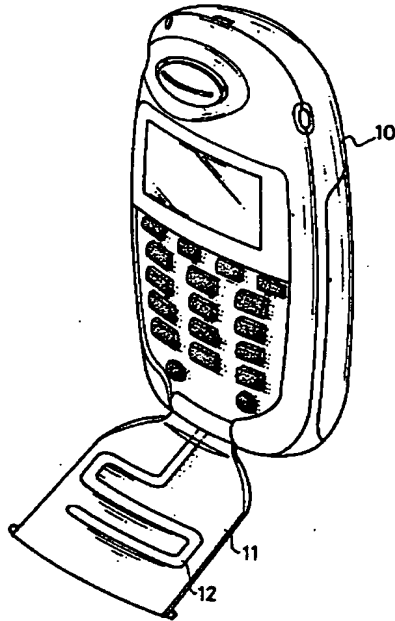
【符号の説明】

10 携帯電話

11 開閉式蓋部

* 12 アンテナ

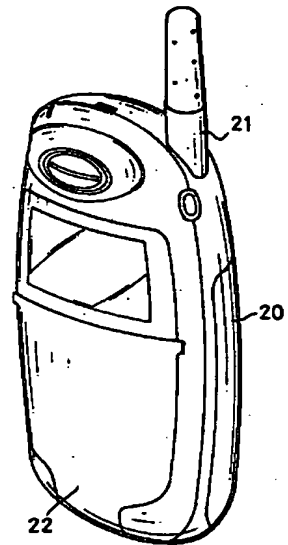
【図1】



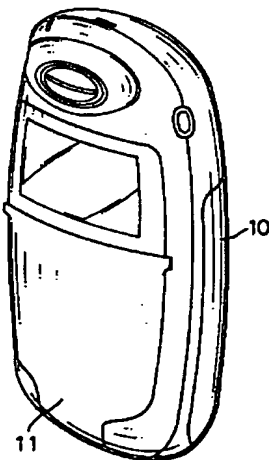
【図2】



【図4】



【図3】



【図5】



フロントページの続き

Fターム(参考) 5J046 AA17 AB06 PA04 PA07
5J047 AA17 AB06 FD01
5K023 AA07 BB23 DD06 DD08 LL05
PP01 PP11
5K067 AA41 AA42 BB04 EE02 KK01
KK17